

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 人口減少社会におけるまちづくりについて (40分)</p> <p>我が国の総人口は、平成20年の約1億2,808万人をピークに減少に転じており、今後、平成60年には1億人を割り込み、その後も減少を続けると予測されております。</p> <p>埼玉県は推計人口も現状において、微増傾向であるものの、今後数年のうちに減少に転じるものと予測されています。</p> <p>本市の人口を含む東武東上線沿線の自治体の総人口も都内まで30分圏内の川越市までは、現在も増加傾向、本市と坂戸市はほぼ横ばい、東松山市は増加傾向にあるものの、平成7年のピーク時と比較すると減少しております。</p> <p>今後、わが国全体が、右肩上がり時代から、少子高齢化が進む人口の自然減という、これまでとは全く異なる時代に突き進んでいく中で、人口減少という社会背景を念頭に置き、そのための新たな発想、戦略が必要であると考えます。</p> <p>全国的に人口が減少していく中で、人口を増やすことは容易ではありません。既に住宅供給＝人口増という時代ではなく、総合的に魅力ある政策の下、将来を見据え、身の丈に合った持続可能なまちづくりを考えていく必要があるのではないのでしょうか。</p> <p>面積が17.65km²でコンパクトにまとまっている市域。東武東上線で都内から40分圏内に位置し、関越自動車道、圏央道それぞれにICを有する地理的条件、市域のいたるところで散見される平地林などの自然環境、脚折雨乞に代表される伝統文化など、本市の現状、特性を認識し、それらを踏まえて、本市の特色を活かしたまちづくりを進めていくことが重要であると思います。</p> <p>前回の12月議会においても、「人口減少社会における多世代近居・循環型のまちづくりについて」を質問させていただきました。</p> <p>これからの全国的な人口の自然減という、新たな社会背景を踏まえて、本市のこれからのまちづくりの方向性、考え方について、質問いたします。</p> <p>(1) 人口減少社会における都市計画について (2) 人口減少社会における公共施設について (3) 人口減少社会における地域コミュニティについて</p>	市長

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p data-bbox="172 331 1114 371">2 農業大学校跡地及び跡地周辺の今後について (20分)</p> <p data-bbox="164 450 1121 533">農業大学校跡地活用及び跡地周辺の整備については、昨年3月議会から5回続けての質問になります。</p> <p data-bbox="164 546 1121 725">これまで、県との協議経過等、多岐にわたり、ご答弁やご説明をいただいてまいりましたが、現状においても、未だ鮮明に見えてこない部分が多くあり、また、新たな課題や疑問点も出てきております。</p> <p data-bbox="164 739 1121 822">こうした中、来年度の県の当初予算案において、農大跡地活用推進事業として、4億4,590万9千円が計上されております。</p> <p data-bbox="164 835 1121 965">今年度、農業大学校施設の解体作業が終了し、具体的にどのような動きが出てくるのか。農業大学校跡地及び跡地周辺の今後について、質問いたします。</p> <p data-bbox="185 1025 940 1155">(1) 県との協議状況について (2) 県当初予算案の農大跡地活用推進事業について (3) 跡地活用及び跡地周辺の今後について</p>	市長